

過去、大阪府内で震度5を観測した地震

表のように、1923年から昨年（2014年）の約90年間で、大阪府内で震度4以上を観測した地震は21回あります。最大震度は1936年の奈良県の地震による5（この当時はI～VIの6段階）および2013年の淡路島付近の地震による5弱（現在の気象庁震度階級：10段階）です。1936年の震度5は、「気象庁震度階級の変遷と震度階級関連解説表の比較（<http://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/study-panel/shindo-kentokai/kentokai2/ken2-2-2.pdf>）」によると、現在の気象庁震度階級の5弱・5強に相当するとされます。

1936年の奈良県の地震は、図1で示した大阪府と奈良県の県境付近で発生し、マグニチュードは6.4で「河内大和地震」とよばれています。『日本被害地震総覧 599-2012』によると、大阪府内で死者8名、負傷者52名の人的被害があったほか、「柏原で瓦や土蔵壁の損傷、国分村（現柏原市）で石切場の崖崩れあり……。震央付近に地鳴りがあった。石灯笼・墓石の回転・倒壊が各地に多少あった。地面の亀裂もところどころに見られた。また、道明寺村（現藤井寺市）、山田村（現太子町）畑等、数箇所です噴砂・湧水現象がみられた。」（図2）とあります。また、地震当日2月21日から29日まで29回の体を感じる地震があったとしています。

No.	発震時		震央地名	北緯 度分	東経 度分	M	最大 震度	大阪 府
	年月日	時分秒						
1	1923/9/1	11:58:31	神奈川県西部	35° 19.8'	139° 08.1'	7.9	6	4
2	1927/3/7	18:27:39	京都府北部	35° 37.9'	134° 55.8'	7.3	6	4
3	1936/2/21	10:07:58	奈良県	34° 31.3'	135° 41.6'	6.4	5	5
4	1943/9/10	17:36:53	鳥取県東部	35° 28.3'	134° 11.0'	7.2	6	4
5	1944/12/7	13:35:40	三重県南東沖	33° 34.4'	136° 10.5'	7.9	6	4
6	1946/12/21	04:19:04	和歌山県南方沖	32° 56.1'	135° 50.9'	8.0	5	4
7	1948/6/15	20:44:43	紀伊水道	33° 42.5'	135° 17.1'	6.7	4	4
8	1952/7/18	01:09:51	奈良県	34° 27.2'	135° 46.4'	6.7	4	4
9	1963/3/27	06:34:39	若狭湾	35° 48.9'	135° 47.5'	6.9	5	4
10	1969/9/9	14:15:35	岐阜県美濃中西部	35° 46.6'	137° 04.6'	6.6	5	4
11	1985/1/6	00:45:38	和歌山県北部	34° 11.0'	135° 32.9'	5.8	4	4
12	1995/1/17	05:46:51	大阪湾	34° 35.9'	135° 02.1'	7.3	7	4
13	1995/1/25	23:15:57	兵庫県南東部	34° 47.5'	135° 18.2'	5.1	4	4
14	2000/8/27	13:13:13	大阪府南部	34° 32.1'	135° 38.8'	4.1	4	4
15	2000/10/6	13:30:17	鳥取県西部	35° 16.4'	133° 20.9'	7.3	6強	4
16	2001/8/25	22:21:25	京都府南部	35° 09.1'	135° 39.6'	5.4	4	4
17	2004/9/5	19:07:07	三重県南東沖	33° 01.9'	136° 47.8'	7.1	5弱	4
18	2004/9/5	23:57:16	三重県南東沖	33° 08.2'	137° 08.4'	7.4	5弱	4
19	2006/11/3	06:24:30	大阪府北部	34° 57.5'	135° 28.1'	3.7	4	4
20	2013/4/13	05:33:17	淡路島付近	34° 25.1'	134° 49.7'	6.3	6弱	5弱
21	2014/8/6	01:17:23	京都府南部	35° 04.2'	135° 29.7'	4.3	4	4

表 1923年から2014年までの大阪府内で震度4以上を観測した地震

普段、大阪府で生活している方は被害を伴う地震を意識することが少ないと思いますが、過去、身近でこのような強い揺れを伴った地震と被害が発生した記録があります。日本にいる限り、どこにいてもふいに地震とその災害に遭遇する可能性があります。今の科学技術では地震を予知することはできません。日頃の備えが非常に重要です。

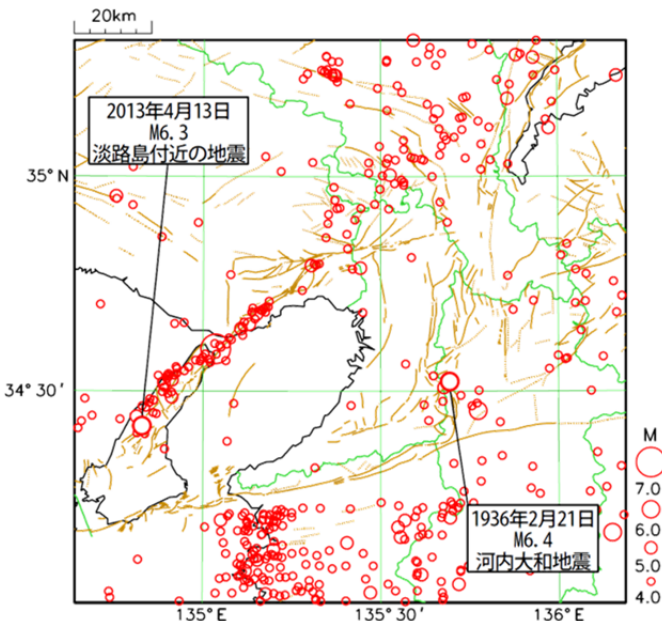


図1 震央分布図 期間：1923年～2014年
マグニチュード4.0以上 深さ0～100km
(地図中、茶色の線は活断層を表す)

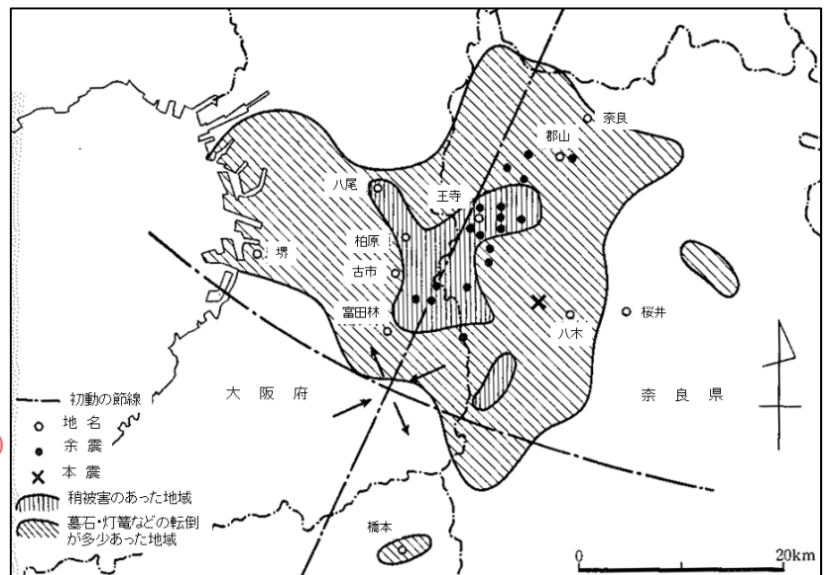


図2 余震分布と被害地震
（『日本被害地震総覧 599-2012』より引用）